

# 京都(京阪神)旅行記

中三 角田圭多朗

父親が中学・高校時代の友人と京都に旅行することになった。それぞれの家族も連れてきて良いことになったので、ついて行くことにした。(東京～京都間の電車賃とホテル代を払ってもらえるし、しかも自由行動をとることもできる。こんなにトクな話はない！)

## 1 日目(8/11)

京成立石	5:25
↓ 京成押上線 普通 西馬込行	
浅草橋	5:39
	5:53
↓ 総武緩行線 普通 御茶ノ水行	
秋葉原	5:55
	6:01
↓ 山手線外回り 品川方面行	
東京	6:05

この後、僕は東海道新幹線のぞみ 203 号新大阪行に乗る予定だ。のぞみ号といえば、つい数年前まで 700 系が主流だったが、今はほとんど N700 系に置き換えられてしまった。N700 系がデビューした頃から、家族旅行の旅費削減のため、ひかり号に乗るようになっていた。そのため N700 系がデビューしてから何年も経つのに、僕は未だに乗ったことがないのだ。

新幹線の改札に入ってから、東京駅で東海道・山陽新幹線時刻表をもらった。なぜなら、今回乗る列車の運用を調べたかったからだ。僕はどきどきしながら(普通こんなことでどきどきするのか?)時刻表を開いた。のぞみ 203 号のところには 700 系と書いてあった。

「また 700 系かぁ。まああのぞみ号が N700 系にもうすぐ置き換えられるらしいからいいか。」と僕は思った。とりあえず、700 系のぞみ(JR 東海によると、2011 年末までにのぞみ号を完全に N700 系に置き換えるらしい)に乗車することにしよう。

ふと反対側のホームを見たら、テレビの取材が行われていた。そういえば、この時期帰省ラッシュだ。きっと指定席は満席だろう。ガラアキの電車が良かったなぁ～。

東京 7:00  
 ↓ のぞみ 203号 新大阪行  
 京都 9:23

暇なので、新幹線の車内で宿題である読書感想文用の本を読もうとしたが、酔ってきた。(当然だ) 諦めて、寝ることにしよう。

そして京都に着いた。これからレンタカーを借りて、比叡山に向かおう。(本当は叡山電車に乗りたかったのに・・・)

		
<p>TVの中継中?</p>	<p>乗る列車、来たぞー。</p>	<p>700系のぞみ号です。</p>
		
<p>朝ご飯です。肉、うまそー。</p>	<p>やっと京都に着きました。京都駅の新幹線の改札です。</p>	<p>レンタカーです。某大手自動車メーカーの最新鋭ハイブリッドカーを借りました。静かだろうな・・・。きっと。</p>

京都駅から5分程歩いてレンタカーの店に到着。ここから車を借りて比叡山へ向かう。なんと借りる車は、最新鋭のハイブリッドカーだ。静かだろうなと思い乗ってみたら、予想通りとても静かだ。ただ、操作が難しく、父の友人が運転してみたら、大変そうだった。実際に、パーキングブレーキのボタンを間違えて押ししまい、もう一度そのボタンを押し直してもブレーキが解放されず、大きな国道の真ん中に止まってしまったことも。その時に「なにわナンバー」にクラクションを鳴らされてしまった。

やっと、比叡山に到着した。木々に囲まれた道を歩くと、とても涼しかった。地図を読み直してみると、電車を使うよりも、車を借りて正解だったと感じた。比叡山は思っていたよりとても広く、電車とロープウェイを使っても、ものすごい距離を歩くことが分った。バスも走っていたが、バスの待ち時間がもったいないような気がした。

		
<p>景色、いいなあ〜。</p>	<p>記念碑です。なんとなく撮ってみました。</p>	<p>某大手私鉄の名前が入った提灯？を発見！確かに近くを、系列の叡山電車が走っている。</p>
		
<p>鐘、鳴らせるのかあ。→</p>	<p>って、金取るのかよ！</p>	<p>「親鸞聖人ご修行の地」。そういえば、親鸞って歴史の授業に出てきたな。</p>
		
<p>昼ごはんはカレーです。</p>	<p>カメラを奪われ・・・ないよね。</p>	<p>へー。「おみくじ発祥之地」なんだ。</p>

父の友人が「早く飯、食いて〜。」とずっと言っていたので、僕までお腹が空いてきた。そこで、「峠のレストラン」のような所で昼食を食べた。僕はカツカレーにした。母はビーフカレーだった。それから「西塔(さいとう)」という所に行き、京都市内へ戻った。

レンタカーを返す前に給油をする必要があったので、ガソリンスタンドへと向かった。父達は何リットル使ったか、予想し合った。

「20ℓ！」

「10ℓ！」

友人の奥さんも、自分の母も何リットルかを言い出した。

ガソリンスタンドの電光掲示板には何リットル給油したかが表示される。もちろん朝満タンで出発したので給油した分が使用したガソリンの量になる。

電光掲示板の数字が動き出した。すると、10秒位したら、数字が止まった。

「あれ、もう満タン？」

するとガソリンスタンドのスタッフが来た。会計をするためだった。最初、故障したからかなと思ったが、壊れてはいなかった。

全員、はずれ。結果は2.5ℓだった。お金は数百円しかかかっていない。「だからハイブリッドカーが売れるわけだ。」と僕は思った。とりあえず、今夜泊まるホテルへと向かうことにしよう。

		
<p>今夜泊まるホテルです。</p>	<p>駅のまん前です。近い！</p>	<p>ホテルの外壁に近鉄特急の広告が。 えーっと、奈良まで35分・・・って、たった35分のために特急を使うのか？ 贅沢だなあ。</p>

ホテルに着いた。京都駅の真正面のホテルだ。そして、ホテルの外壁に近鉄特急の広告があった。多分、このホテルの真正面には近鉄京都駅があるからだろう。広告をよく見てみると、奈良

まで特急で 35 分と書かれていた。京都から奈良まで行く時は急行で十分なのに、わざわざ特急を使う人がいるのだろうかと思議に思った。

早速部屋にいてみると、窓から新幹線が見えた。しばらく見ていると、N700 系ばかりホームに入っていきではないか。「こだま」や「ひかり」よりも、「のぞみ」が圧倒的に本数が多いことを改めて実感した。

夜は堀川というところの七夕祭りを見に行くためにタクシーを使ったが、タクシーを降りてから、雨が降りだした。しばらく我慢していたが、我慢の限界に近づいてきたので傘を買った。

しかし、その傘が無駄になってしまった。なんと購入してから数分後に、雨が止んだのだ。傘買った金、返せ！と思ったが、当然、だれにも返してもらえない。(親の金で買ったので、自分の財布には影響は無かったが、でも何か悔しい。)

その後歩き、そしてタクシーを使い、晩飯を食べに行った。食べ終わってから、宿に戻った。とりあえず、今晚は寝ることにしよう……。

## 2 日目(8/12)

朝起きたら、窓の外を新幹線の回送列車が頻繁に東京方面へ走っていた。ずっと見ていたが、営業列車はなかなか来ない。

「仕方ない。テレビでもみるか……。」

しばらくしてから、朝ごはんを近鉄の駅の高架下にある店までの食べに行った。このご飯を食べ終わってから、僕の京阪神私鉄の旅が始まる。

京都駅前

↓ 京都市営バス 17 系統

四条河原町

阪急河原町

↓ 阪急京都線 快速急行 梅田行

梅田

とりあえず路線バスにのりたいたのだが……、乗り場はどこだろう？ 路線バスの乗り場はどこにあるのだろう。10 分くらい探し、やっと見つけた。

しかし、今度は阪急の河原町駅へ向かうバスにのりたいたのだが・・・、乗り場はどこだろう？ また迷ってしまった。そして、やっと河原町駅方面のバス乗り場を見つけた。5分くらいしたら、バスが来た。

バスに乗ると、驚いたことに車内放送が合成っぽい。かなり変だ。僕は違和感を覚えながら、目的地へ向かう。

やっと四条河原町のバス停に着いた。ここは、京都一の繁華街らしい。

デパートの前に「阪急電車のりば」と書かれた看板のある階段があったので、素直に看板通りに歩いていくと、静かな場所に着いた。それはまるで、人がほとんどいないデパートのトイレのようだった。

「ここで本当に正しいのかな？」

不安ではあったが、看板を信用するしかない。そのまま歩くと改札とプラットホームが見えた。

「河原町駅って、こんなに小さかったっけ？」

これから阪急に何度も乗るので、阪神・阪急の一日乗車券を買うことにした。その切符を自動改札機へ通す。そして、ホームへ向かう。

快速急行に乗車しようとしたが、快速急行は日中、特急になるはずだ。京都本線の特急は基本、転換クロスシートがある9300系なのだから、快速急行も9300系が来なければおかしい。しかし僕がホームで目にしたのは、7300系の快速急行が1号線に停車している光景だった。あれ、これって結構貴重？と思ったため、一応写真を撮った。

車内へ足を踏み入れた。阪急はシートの硬さにこだわっているとインターネットに書いてあったので、実際に座ってみることにした。

かなり良かった。東京と電車もこのぐらいの硬さであればいいのにと考えた。さすが阪急だ。

電車が動きだすと、すぐに烏丸駅に着いた。すると、乗客がたくさん乗ってきた。

「河原町よりも烏丸の方が、人が多いのか？ 河原町駅辺りは京都一の繁華街だし・・・。変だなあ。」

快速急行電車は、かつて特急が停車していた大宮駅に到着する。あまり人はいない。京福電車からの乗り換えがあるとおもったが・・・意外だ。

次の西院駅を出て、地上へ出た。その時、いきなり運転室の方からカーテンを開ける音がした。運転手が斜光用のカーテンを開けたのだ。運転中に片手を離しても大丈夫なのかと思ったが、以前京阪電車に乗ったときも運転手が同じように、走行中にカーテンを開けていた。恐らく関西の

私鉄の風習であろう。せつかくカーテンが開いたことだし、さて、前面展望でもしようか。

		
<p>四条河原町に着きました。</p>	<p>このまま階段を下れば、阪急電車のホームです。</p>	<p>階段を下りたら、こんな場所着きました。本当にこんな所であっているのだろうか？</p>
		
<p>矢印のままに行くと、ありました。改札です。(改札内から撮影)</p>	<p>7300系の快速急行です。珍しい・・・のか？</p>	<p>2号線ホームです。昔、日中に快速電車が運転されていた時に、使っていたそうです。</p>

前面展望をしているうちに、電車は梅田に入線した。京都本線はスピードが遅いイメージがあったが、それほどでもなかった。

さて、これから撮影の練習にでも行くか。まずは塚口駅だ。

梅田

↓ 阪急神戸線 普通 三宮行

塚口

前面展望をしつつ、塚口に着いた。インターネットで阪急の撮影地を調べたところ、この駅は上りと下りの両方が撮れるらしい。実際そのうちの片方に行くと・・・

「信号機が邪魔だなあ。」(今思うと、ズーム機能を使って撮影するパターンだったのかもしれない。)

「反対側は直射日光でダメかもしれないなあ・・・。」

ということで、ここに来た記念に一旦下車し、神崎川駅の撮影地へ行くことにした。(一日乗車

券なので、改札を出ても出なくても大丈夫なのだが、一応降りた。)

塚口

↓ 阪急神戸線 普通 梅田行

神崎川

梅田方面に向かう普通電車は意外と人が乗っていた。今思うと多分、塚口駅からの客だろう。

そして、車内は節電のため、室内灯を消していた。1 日目に京都市内で乗車したタクシーの運転手の言う通り、関西電力の電気もかなりヤバイらしい。東京よりも大変だそうだ。それにしても、どうして京都本線の電車では電気を消していなかったのだろうか？

神崎川駅に着き、三宮方面ホームから梅田行を撮影しようとした時、梅田方面のホームから電車が通過する音がした。特急だろう。まあ、1 本くらい撮らなくてもいいかと思ってゆっくりホームへ上がったたら、最新鋭の車両である 9000 系の特急梅田行が通過し終わっていた。せっかくの獲物を逃がしてしまった気分になった。かなりショックだった。




その後、前向きに撮影を始めるが、どうも上手に撮れない。自分が写真初心者だからであろう。特急を 2 本撮って、断念した。

「仕方ない。宝塚線の石橋駅にでも向かうか・・・。」

一応神崎川駅で改札を出て、駅舎の写真を撮り、普通電車を待つ。十三駅から宝塚線急行に乗車した。座席に座って前面展望をしていたら、近くに座っていた子どもに睨まれていた。「なんだよ、こいつ！」と思いながら、急行電車は石橋駅に到着した。

撮影を開始したが、相変わらず下手な写真ばかり撮れる。50 分近く撮影したが、諦めた。でも、神崎川で撮った写真よりかは、ましかもしれない。

父親から借りた携帯電話の時間を見ると、11 時半近くになっていた。そろそろ昼時かぁ・・・。一旦改札を出て、急行電車に乗った。

		
梅田まで乗車した快速急行です。すでに折り返しの特急河原町行になっていました。	梅田駅って、大きいなあ～。	宝塚線の 9000 系です。普通 雲雀丘花屋敷行でした。



		
<p>携帯電話 OFF 車両に貼られているステッカーです。</p>	<p>塚口に着きました。</p>	<p>さすが通勤特急停車駅。降りる客の数が、かなり多かったです。</p>
		
<p>塚口駅の改札です。</p>	<p>今度は神崎川です。</p>	<p>防潮扉って、これのことなのかあ。</p>
		
<p>東京ではもう無い、喫煙所です。</p>	<p>この喫煙所も、あと数日で撤去されるのか・・・。</p>	<p>梅田駅の改札から一番離れている最後尾車両でも、こんなに混んでいる普通電車です。</p>
		
<p>とりあえず、石橋駅に到着。</p>	<p>あ、9000 系だ！ 面撮りですが、撮ってみました。</p>	<p>石橋駅前の写真です。</p>

石橋

↓ 阪急宝塚線 急行 梅田行




十三

昼食を食べに、僕は十三駅へと向かった。なぜ十三かというと、実は、阪急グループ直営の駅そばの店「阪急そば」の第一号店が、この十三駅構内にあるからだ。

以前インターネットで阪急そばのホームページを閲覧したときに、そのホームページには「お客様の期待を超えよう」と書いてあったので、僕の期待を超えてくれるのかな？と、思っていた。

店に入り、券売機で月見そば？の食券を購入し、店員に券を渡した。1分くらいかかるだろうと思っていたら、30秒程度で到着。確かに期待を超えてくれた。しかし、食べてみると・・・、

「あれ、想像していたのと違うなあ。東京と大阪では、そばの味が全然違うのか。」

		
阪急そばの十三店です。	店の外にあった看板には「関西で最初の駅そば」と書いてありました。	僕が食べたそばです。

そばを食べ終わりそうな時、店が面している宝塚方面のホームに電車が入線してきた。するとその電車から降りてきたたくさんの客が入店してきた。店は一気に混みだした。

「さっさとこの混雑から逃げよう・・・。」

さて、また撮影の練習でもするか。どうせまた同じパターンで戻って来るかもしれないが、練習しないことには始まらない。僕は京都本線の上新庄駅へと向かった。

十三

↓ 阪急京都線 準急 河原町行

上新庄

僕は中間に位置する優等列車が大好きなので、あえて準急電車に乗り、目的地へと向かった。

上新庄に着いて撮影を開始しようとした時、ふと見るとすでに撮影しているおじさんが居た。その人のカメラに写り込まないように気を配りつつ撮影をしたが、また同じパターンだ。上手に

撮れない。

「もしかして、ネットの撮影地情報にあった写真って、おじさんが立っている位置から撮ったものかも・・・。」

そう思ったが、

「あの位置ってホームから 15cm も離れてないよなあ・・・。しかも特急が 80~90km/h で通過するし・・・。かなり危ないよな。」

しばらくすると、そのおじさんが居なくなった。そのポジションから良い写真が撮れそうだったが、やめておいた。危険だ。

結局この後も同じパターンで、改札を出て、また移動した。

		
準急同士がこの駅で擦れ違つたので、面撮りですが、撮りました。	上新庄駅前です。	駅名標も撮っておこう。

上新庄

↓ 阪急京都線 準急? 梅田行

十三

↓ 阪急神戸線 特急 新開地行

高速神戸

↓ 神戸高速鉄道 特急(普通) 東須磨行

新開地

上新庄での撮影でまた同じことをした僕は、神戸電鉄(神鉄)粟生線に乗りに行った。この粟生線は年間 10~13 億円もの赤字を出している路線であり、今年中には存続するかどうか判断する予定の路線だ。もし存続しない、すなわち廃線という判断が下されたら・・・ということで、前

面展望を撮影しに行くことにした。

まずは神戸電鉄との連絡駅、新開地に向かう。十三駅まで京都線、十三駅からは神戸線の特急に乗車した。この神戸線の特急に関しては、模型班の先輩から特急の前面展望を勧められていたので、十三で先頭車の乗車位置に並んだ。

この特急は十三～西宮北口間では 115km/h を出す。西宮北口以西の最高速度は 110km/h となっている。そして 100km/h オーバーで六甲付近のアップダウンする。結構体感速度を速く感じるかと思ったら、車両の乗り心地が良過ぎてほとんど揺れなかったので速く感じなかった。でも神戸線ファンとして、乗車できて良かった。

電車は西宮北口、夙川、岡本、三宮、花隈、高速神戸の順に停車して行った。意外なことに、ほとんどの客が三宮まで乗車せずに西宮北口駅で普通電車に乗り換えてしまった。そして残りの客も三宮で降りてしまって、神戸高速線内では客はほとんどいなかった。車内も綺麗だったので、阪神急行電鉄時代のキャッチコピーである「綺麗で早くて、ガラアキ、眺めの素敵により涼しい電車」が使えるようであった。でも、西北以东は座席が満席だし、窓が閉まっているから余り涼しくないし、六甲付近は住宅が建ってしまって眺めが良くないような・・・、やっぱり使えないか。

高速神戸で阪神から来る先発の東須磨行阪神特急との接続があり、早く新開地に着きたかったので、1 駅間乗車してみることにした。

ずっと阪急の木目調の内装に目が慣れていたので、阪神車の白色の内装にはかなり違和感があった。

新開地に着いた。ここで一旦一日乗車券で下車し、神戸電鉄の切符を買う必要がある。1 駅だけ乗車した阪神車の写真を撮って見送ると、すぐに高速神戸駅まで乗った阪急の電車が来た。乗り換えた意味が無いじゃんと思いつつ、その阪急車も写真に収めた。

改札を出た後、粟生線の終点である粟生までの切符を購入し、また改札の中へと入る。神鉄専用発着ホームへと向かうと丁度ホームに粟生線の電車が停車していた。しかし途中の小野止まりだったので、乗れなかった。

「15 分後の粟生行まで待つのか・・・面倒くさいなあ。まあ、ベンチに座って休むか。」

僕は日中の地下鉄銀座線 (3 分毎) も待てないような人間なので、15 分という数字がその時に僕の頭にとっても重くのしかかっていた。

小野行が発車してから数分後には次の粟生行が入線してきた。当初の旅行計画では、この電車よりも 1 時間も遅い電車に乗る予定だったので、両親には「早く帰れそうだから、7 時に朝ごはんを食べた場所に待ち合わせね。夕食代をよろしく。」と携帯電話で話した。時間速く帰れば自分

で晩飯を買わずに済む。買わなければ自分の財布に負担がかからない。得だ。

それでは、早速神鉄に乗ろう。

		
<p>十三の駅名標です。</p>	<p>特急 東須磨行の阪神 8000系です。</p>	<p>方向幕も撮っておこう。</p>
		
<p>高速神戸まで乗車した阪急特急です。</p>	<p>新開地の駅名標です。(阪神・阪急・山陽専用ホーム)</p>	<p>新開地駅の改札です。</p>
		
<p>えっと、粟生までは・・・→</p>	<p>770円。意外と安いな、神鉄。</p>	<p>神鉄専用ホームです。</p>
		
<p>神鉄ホームのすぐそばにあった「高速そば」。「そば」が高速で来る訳ではありません。</p>	<p>小野行(左)と三田行(右)のツーショット。</p>	<p>僕が乗った普通粟生行の電車です。</p>

新開地

↓ 神戸電鉄粟生線 普通 粟生行

粟生

僕を乗せた粟生行の電車は満席の状態で行き出た。多分、大半の人は鈴蘭台で降り

るだろうと思っていたが、鈴蘭台駅を過ぎてても満席の状態は続いた。鈴蘭台で有馬線と分岐した粟生線は、本当に存続の危機なのかと疑問に思うぐらい、たくさんの人が乗っていた。僕が乗った列車は夕方の時間帯を走っていたわけでもないので、「絶対赤字なんてうそだ。」と思っていた。しかし、三木駅に着いた時に周りを見渡すと、1両に乗車している人が10人くらいまで減っていた。三木以南の利用客が多かったのだろう。そのまま電車は何個もの駅に停車していったが、少しずつ客が降りていき、終点の粟生に着く頃には3両編成の電車の中に、僕も含めて3人しかいなかった。どうやら三木以北が赤字の原因のようだ。

終点に着いたので一旦改札を出て新開地までの切符を買おうとしたが、改札の近くに不正乗車防止用の監視カメラがあり、カメラの下の看板には「見つけ次第警察に通報します。」と書いてあった。不正乗車防止用の監視カメラは今までの人生で初めて見た。

改札を出た僕は、粟生線の客を奪ったJR古加川線のホームを睨みつけながら新開地までの切符を購入した。

僕が乗ってきた電車は折り返しの準急になっていた。準急は鈴蘭台以南の2駅だけを通過する列車だ。

前面展望を撮影したかったので運転手に撮影の許可を得ようとした。「客室の中からの撮影でも許可を取らないと「勝手に撮ってるじゃねえよ！」と怒る運転手も居るから許可を取ったほうが良いよ」と鉄研の友人に言われたことがあるので、勝手に撮る訳にもいかない。運転手に尋ねてみた。

「すみません。客室の中から前面展望の動画を撮りたいんですけど・・・。」

運転手は僕のことを変わった客だと思ったのか、それとも「ゼンメンテンボウ」と言われて漢字の変換に時間がかかったせいか、少し返事に戸惑ったが

「前を撮るヤツやね。ええよ。」

と親切にもOKを出してくれた。さすが阪急の子会社、乗務員が親切だなあと思いながら録画ボタンを押した。

それから1時間6分もの間ずっとカメラを手で持っていた為、早く終点に着かないかなという、鉄道ファンらしからぬ考えを持ってしまった。撮影開始から10分で疲れ始めたのに1時間以上もよく体力がもったなど、自分でも感心している。

新開地に着く頃には筋肉痛になっていた。切符を記念に持ち帰りたかったので、改札で無効のスタンプを押してもらい、さっきまで使っていた1日乗車券を財布から取り出した。

大阪方面のホームに下りると、そこには山陽5000系の直通特急阪神梅田行が停車していた。

僕が使用している乗車券は阪急だけでなく阪神でも使えるので、これはいい機会だと思い、その電車に乗った。

山陽 5000 系はオール転換式クロスシートなので、梅田まで快適に移動できた。その日は甲子園球場にて高校野球が行われていたので、当然ながら甲子園駅でたくさんの人が乗ってきた。僕は変なおっさんに絡まれるのではないかと不安であった。

怯えている僕を乗せた直通特急は梅田に無事到着した。僕は又、山陽電車のファン(一度も乗ったことがないが)でもあるので、乗ってきた山陽の車両をカメラに収めた。

それから阪急梅田駅まで歩き、そこから阪急京都線の特急に乗りようとしたが、どうやら待ち合わせ時間に間に合いそうも無い。親に連絡を入れようかと思ったが、僕が乗った車両が「携帯電話終日 OFF 車両」ということに気づいた。他の車両に移っても、良い席が空いていないだろう。朝梅田に向かう時に乗れなかった 9300 系だったので、阪神の直通特急同様オール転換クロスシートだった。なので、せっかく取った窓側の席を外す訳にはいかない。




「やばい・・・間に合わない。」

仕方なく終点の河原町まで行かずに、1 つ手前の烏丸駅で下車した。そこから京都市営地下鉄を利用した方が早く京都に着くと考えたからだ。

それから 20 分くらい遅れて待ち合わせ場所に着いた。そこで晩御飯を食べてから、ホテルに戻り、寝た。

阪急、阪神、神鉄に乗れて、しかも神鉄に関しては前面展望も撮影出来た。満足な 1 日だった。

		
<p>景色がいいなあ〜。</p>	<p>粟生に着きました。</p>	<p>粟生駅の駅名標です。</p>
		
<p>車内は快適！ 直通特急の車内です。</p>	<p>あっ、旧型のジェットカーだ。撮っておこう。</p>	<p>甲子園の駅名標です。この駅からたくさんの人が乗ってきました。</p>

		
<p>乗車した山陽 5000 系車両です。</p>	<p>阪神梅田の駅名標です。</p>	<p>旧型のジェットカーも消えてしまうのか・・・。</p>

### 3 日目(8/13)

この日は京都市内を自転車で巡った。朝、ホテル近くのレンタルサイクルの店に行って自転車を借りた。さて、市内を散策しようか。

最初に東福寺に行き、それから様々な所へ行った。それ以外特に書くことといえば、高輪学園の元々あった場所である、西本願寺へ行ったことぐらいだ。しかし、

「あれ、高輪の元々あった場所って西本願寺だけ、東本願寺だけ？」

と迷ってしまい、西本願寺の写真を撮り忘れてしまった。西本願寺には多めに賽銭を入れたはずだが、もしかしたら西じゃなくて東にたくさん入れてしまったかも・・・。

昼飯は王将の餃子だった。京都らしいものを食べたかったが、東本願寺から近かったので、そこで食事をした。

帰りの新幹線はのぞみ号だった。行き同様急いで時刻表を開くと、乗る列車のダイヤには N700 の文字があった。人生初の N700 系だ。

乗った N700 系は 700 系に比べて、かなり乗り心地が良かった。JR 東海はかなり高い技術を持っているのかもしれない。しかし行き同様、読書感想文用の本を読むことが出来なかった。

新幹線に乗っていて名古屋に着くまでは長く感じたが、名古屋から東京までは時間を早く感じた。本が読めなかった分、N700 系を堪能した。

東京駅に着いてから JR で浅草橋まで向かい、そこから都営浅草線を使った。本当は総武快速線を使いたかったが、定期券が都合上浅草線を使わざるを得なかった。

家に着いてから早速、畳の上で横になった。楽しかった旅行であった。



		
<p>僕が借りた自転車です。</p>	<p>弓道の練習でミスったのか、 弓矢が天井に刺さっていまし た。</p>	<p>京阪電車の七条駅入口です。</p>
		
<p>東本願寺です。</p>	<p>東本願寺？の門です。</p>	<p>昼食です。</p>
		
<p>乗車する列車が表示されてい る電光掲示板です。</p>	<p>N700 系の鼻って、長いんだ なあ。</p>	<p>人生初の N700 系です。 楽しみです。</p>

京都 16:22  
↓ のぞみ 242 号 東京行  
東京 ???  
↓ 山手線？京浜東北線？ ???行  
秋葉原 ???  
↓ 総武緩行線 普通 千葉？行  
浅草橋 ???  
↓ 都営浅草線 普通 ???行  
京成立石 ???

旅行を終えて・・・

この旅行で僕は初めて京阪、南海以外の私鉄に乗車しました。本当は山陽電車に乗る予定だったのですが、電車の撮影練習の為、乗車出来ませんでした。

阪急は最近経営がヤバイそうです。新車を製造するお金が無いという話も聞いたことがあるくらいです。恐らく阪神淡路大震災以降、JR西日本に客を奪われたのでしょう。

神戸電鉄は乗務員の接客態度がかなり良かったです（悪い乗務員も多少は居ると思いますが・・・）。粟生線が10年連続赤字で、神戸電鉄粟生線活性化協議会というものまで出来てしまいました。活性化協議会は「乗って残そう未来の粟生線」をスローガンに掲げて粟生線を必死にアピールしています。沿線の住宅に神鉄の広告を配ったりしているそうです。僕自身粟生線は好きではなかったのですが、実際に乗ってみて、粟生線が大好きになってしまいました。是非、神鉄粟生線に乗ってみてください。いい路線です。

阪神電車は運転が乱暴という噂を何度も聞いていましたが、意外と乗り心地がよかったです。ただ、阪神工業地帯の辺りを走るため乗客が多いので、座席確保にはそれなりの覚悟が必要になってくるかもしれません。

そして、私鉄全体的に利用客が多いことに驚きました。特に神鉄全事業の利益の何倍もの赤字を出している粟生線は昼間でも客が多かったです。本当に赤字なのだろうかと疑問に思いましたが、粟生辺りは客がほとんど居なかったです。

関西は私鉄王国です。JRに勝つために、接客にはかなり力を入れているはずです。是非みなさんも、関西私鉄の旅へ1日だけでも行ってみたいはいかがでしょうか？